

# 上尾市の学校統廃合計画と小中一貫教育を視察しました

## 住民の反対で再編統合案を見直し

8月21日～22日、西村雅人議員と一緒に、埼玉県上尾市と千葉県浦安市に視察で行ってきました。その内容を2週にわたって報告します。

一日目は上尾市の視察です。

釧路市は小中学校の区別をなくして、9年間を同じ校舎で学び続ける「施設一体型義務教育学校」に全校を再編する考えです。すでに、大楽毛と音別で準備が始まっています。学校数の激減は避けられません。

埼玉県の上尾市も、R元年度に「小中全



れました。

「小学校なら全学年1学級、中学校なら全体で8学級以下」が5年間続いた場合には統廃合を含めて検討すると、再編対象校を大幅に減らしました。再編も統合一辺倒ではなく、通学区の見直しなど様々な検討もします。「適正」規模以下でも、地域

体33校を22校に減らす」計画をつくりました。しかし、住民説明会で、「学校規模が大きすぎる」「通学時間が長い」「住民の声を聞かない」「コスト削減ありきだ」などの反対意見が続出したため、市長は計画の見直しを表明。今年3月に新しい計画がつくらしい計画が

の合意で学校の在り方を決めます。

しかし、再編統合がなくなったわけではありません。住民は「今ある学校をなくさないで」「老朽化している学校を直し、特別教室にもエアコンを」と、学校を減らすこと自体をやめるよう求めています。

住民が地域ごとに立ち上げた「会」の運動で、学校再編にブレーキをかけたのが上尾市です。それと同時に、いったん再編計画を決めても、住民の声に合わせて、計画を大きく変更、住民合意をはかろうとする行政側の姿勢も釧路市に欠けている点です。

### 統合せずに小中一貫教育を

上尾市が優れているもうひとつの点は、9年間の系統的な学びⅡ「小中一貫教育」を進めるけれど、無理に小中を一緒にせず、校舎がバラバラに分かれていても、その条件の中で行うということです。小中一貫教育はこれから始まるもので、効果が検証されたわけではありません。施設一体型義務教育学校はなおさらです。

釧路市のように、十分な検証もせずに、一足飛びに義務教育学校化する考えは、現時点ではもっていないとのこと。

### 子どもたちにもアンケート

学校の主役は子どもたちです。上尾市は中学生全員、小学校5・6年制にアンケートを取って、子どもたちの考えもシッカリ聞いて進めています。子ども全員に一台ずつタブレット端末が、すでにいきわたっていますからWEBアンケートならすぐできるとのことでした。釧路市でも子どものアンケートをすべきです。

村上かずしげ通信

2023.9.3 発行 共産党市議団 23-5212